

# 仙元山（奥武蔵） ハイキング報告

【山域】 奥武蔵【日程と天気】 2017年4月8日 雨/曇り

【メンバー】 CL 平野（直）・SL 平野（良）、上茂、小原、岸野、齋藤（健）、鈴木（憲）、山本加藤、堀田（記録）

【行程】

仙元山見晴らしの丘公園（10：15）—カタクリとオオムラサキの林展示館（10：30）—下里・青山板碑制作遺跡（11：30）—仙元山山頂（12：00）—休憩所・東屋—仙元山見晴らしの丘公園（12：35）



平野（直）CLの「重量自由、プチボッカ ハイキング！！」の呼び掛けに集まった、年齢「バラバラ」10名での楽しい山行でした。

前日から続く雨が予報より長引いた為、当初予定していた「伊豆ヶ岳・天覚山ハイク」を急遽断念。雨が止んだタイミングを見計らって、埼玉県小川町の低山「仙元山 298.9m」でお花見ハイクを楽しみました。



仙元山・和紙の里 ハイキングコースマップ

小原氏による まさかの ラゲッジスケール を使用した厳正な測定により、  
15kg以上 ~ 0kgまで「バラバラ」のウェイトを背負った一行が、  
「仙元山見晴らしの丘公園」をスタート。

↓

カタクリとオオムラサキの林展示館 到着（10：30）・見学



土足厳禁・・・お靴も「バラバラ」・・・

↓

カタクリの自生地 到着



カタクリ自生地



かわいい

カタクリについて「SL 平野のアニキ」から面白い知識を教えてくださいました。

※昔はかたくりの花の根っこ（球根）から採ったものを片栗粉として使用していたそうです。

現在は馬鈴薯（バレイショ＝ジャガイモ）のでんぷんが片栗粉の主流な原料との事です。

ついでに調べてみると、「ジャカルタ」から来たので、「ジャガイモ」と呼ばれ、

「マレー半島」から来たので、「馬鈴薯（マレー芋）」と呼ばれる様になったみたいです。

↓

カタクリについて更に調べてみると、

※カタクリの花言葉は、「寂しさに耐える」「初恋」「嫉妬」。

花言葉の由来は、カタクリの花が下向きに咲き、うつむいているように見え、その姿が「寂しさに耐えている」、「嫉妬している」ように見えたのだと考えられる。だそうだ・・・



※そう言われると「lonely」で「jealousy」に見える・・・かも・・・



↓



満開の桜の下を進むパーティ

桜の花びら散るたびに～♪

届かぬ思いが又ひとつ～♪

↓

下里・青山板碑制作遺跡 到着 (11:30)



※鎌倉時代から戦国時代の板碑(いたび)製作遺跡。13世紀頃から関東では仏教信仰の高まりを受け、寺院建立・板碑の造立が盛んになった。詳しく調べてみたが、長くなるので記載しない。

↓

ロードを抜け、いよいよ登山口 到着。いよいよ登りです。



登りです。ザックが重いです。

皆さん楽しそう。

午後は「桜」「酒」ですから！

朝まで降っていた雨もすっかり上がり、ムシムシとした湿度の中 スリップすることなく



元気に進むパーティ。

↓

仙元山 山頂 298.9m 到着 (12:00)



お水「タプタプ」のザックです。

↓

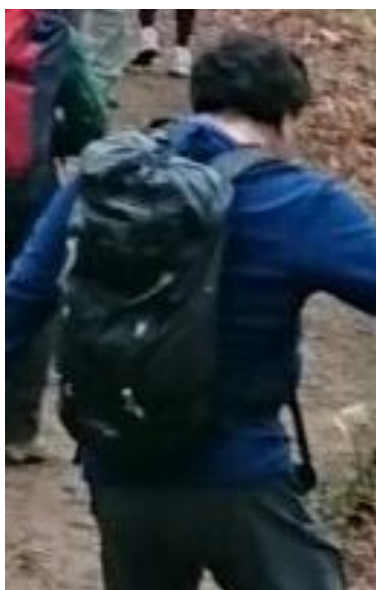
下山開始



↓



⇒



⇒



山本さん、ザックでかい！

岸野さん、背中 でかい！！

上茂さん、カバーでかい！！！！

やはり「バラバラ」ですから・・・  
一枚の写真・・・なかなか面白い物である。

↓

休憩所・東屋 到着



霧の中のハイキング

↓



仙元山見晴らしの丘公園 (12:35)

周遊完了



・道中には「ニリンソウ」も咲いている「花のお山」でした。

※花言葉＝「友情」・「協力」

本日のパーティにぴったりの花言葉です。「バラバラ」ではありません！

雨天中止が予想された中、楽しい先輩方と笑いの絶えない「ハイク・お花見」でした。

「プチボッカ」又 参加させて頂きたいと感じた1日でした。

天候が不安定でプランニングが困難にも関わらず、楽しい山行を準備して下さった平野 CL に心より感謝申し上げて山行報告とさせていただきます。



午後の部「お花見」写真



桜が満開でした



宴会模様



お酒が美味しい



正直者のワシントンは・・・  
桜の枝を・・・

折っていません。